



制度〈基本〉

運用・商品〈基本〉

運用・商品〈実践〉

その他

## 「円高」「円安」ってどういうこと?

テレビのニュース等で円相場が「1ドル=〇円」と毎日何度も報道されています。その際、「円高」「円安」という言葉が使われます。そもそも「円高」や「円安」ってどういうことなのでしょう? また、確定拠出年金の運用を行う場合に、どのような影響があるのでしょうか?

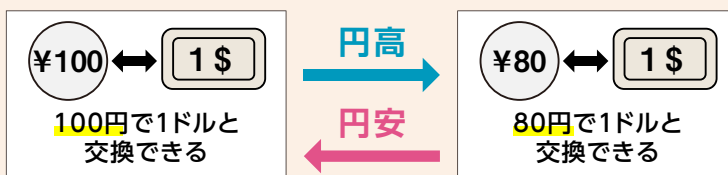


### 円高・円安とは? …… 円の価値の高低

日本で使われているお金は「円」ですが、海外では「USドル」「ユーロ」「元」など、国によって使われているお金（通貨）は異なります。異なる通貨間で取引をするには、互いの通貨に交換する必要があり、その際に「為替レート」という交換比率を使って交換します。円高・円安とは、円の価値の高低を意味します。円高は、相手の通貨に対して円の価値が高くなること、円安は、相手の通貨に対して円の価値が低くなることです。

例えば、図の右向き ➡ の様に「1ドル=100円」から「1ドル=80円」になった場合、1ドルと交換するのに100円必要だったのが、80円で交換できるようになります。ドルを一つの商品と考えると、1ドル（商品）が安くなった、ドルに対して円の価値が上がったということです。この状態が「円高（ドル安）」です。逆に、図の左向き ⬅ の様に「1ドル=80円」が「1ドル=100円」になった場合、1ドルと交換するのに80円で良かったのが、100円必要になります。ドルが値上がりした、ドルに対して円の価値が下がったということです。この状態が「円安（ドル高）」です。

### ■ 円の価値



### ■ 資産の評価額 …… 外貨建商品を1万ドル保有している場合



### 運用商品への影響

…… 円安に振れると有利

外国の債券や株式は外貨建てで運用している為、為替相場の変動により、円に換算した場合の商品価格が変動します。外貨建商品を持っている場合は、円安になると円に交換する際の受取額が多くなり、資産の評価額が上がります。逆に、円高になると円に交換する際の受取額が減り、資産の評価額が下がってしまいます。つまり、外貨建商品を持っている場合は、購入した時より円安に振れると資産が増えて有利、円高に振れると要注意です。この様な為替相場の変動の影響を抑える為に、商品によっては「為替ヘッジ」を行うものもあります。

### コラム

## 今年はどんな年になる?

干支ごとの「相場格言」をご存じですか? 過去70年を超える実績に基づいた経験則から伝えられているのですが、なかなか面白いものです。例えば、株式市場が好調だった昨年は「子（ねずみ）繁栄」、今年は「丑（うし）つまずき」と言われます。年始の大発表では一時大きく下げる場面もありましたが、はたして格言通りになるのか、はたまた外れるのか、そんな観点で1年を見ていくのも良いかもしれませんね。



### 加入者サイトに入ってみよう!

りそな銀行確定拠出年金加入者サイトでは、皆さまの資産状況、運用商品状況のご確認、将来の受取金額シミュレーション、各種お手続きを行っていただけます。

<https://www.resona-tb.co.jp/401k/>



2021年1月発行

りそな銀行 年金業務部 確定拠出年金室  
〒540-8607 大阪市中央区備後町2-2-1

本レターに関するお問合せ先

りそな銀行 確定拠出年金コールセンター  
☎ 0120-401-987+ [2#]

※海外からは国際フリーダイヤルをご利用ください。

本レターの無断引用・転載はお断りします。